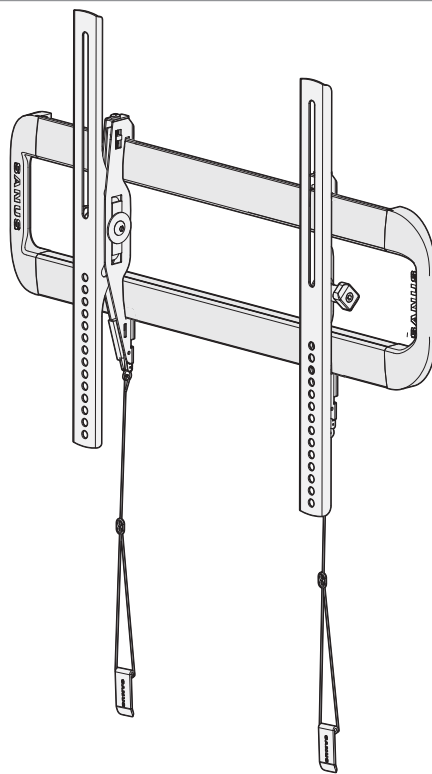
SANUS®

VLT5 壁掛金具
取 扱 説 明 書

----- 重量 56kg 以下 の薄型テレビの取り付けに適用 -----

この度は、VLT5 の壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VLT5 は 51V 型～ 80V 型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ
本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。 必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ
薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
〒 559-0031　大阪市住之江区南港東１丁目２－１６
ネットワークジャパン株式会社　TEL 06-6612-2008 FAX 06-6612-2050

http://www.network-jpn.com/　E-mail : info@network-jpn.com

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
警告	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	内容
	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。（してはいけない禁止内容）
	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)
	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。（気をつける内容）

警告

禁止

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の 5 倍の重量に耐える強度が必要です。
VLT5 壁掛金具は、51V 型～ 80V 型で、総重量 56kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
又、木製やコンクリート以外の（鉄骨製などの）壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。

工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。 テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

禁止

本製品には小さな部品が同梱してあり、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。

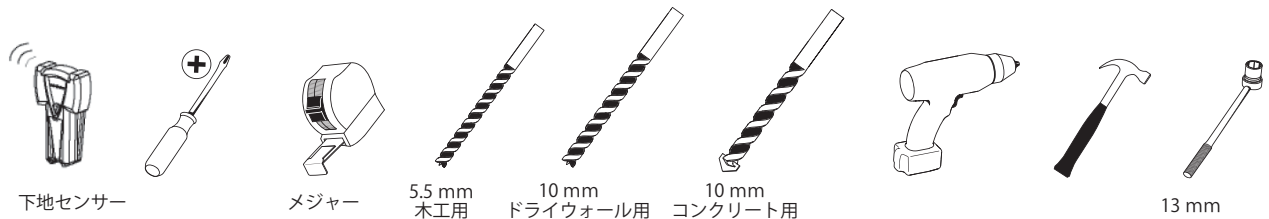
取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン（株）に連絡して下さい。
尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

ネットワークジャパン（株）は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

重要　本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類

仕様

耐荷重　　　　　　：56kg（テレビと付属品を含みます）
適応テレビサイズ：51V 型～ 80V 型
ティルト調整　　　：+7° -12°

※左記を超過しないようにして下さい。

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意してください。

★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。

★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の 5 倍を支えられなければなりません。

★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。

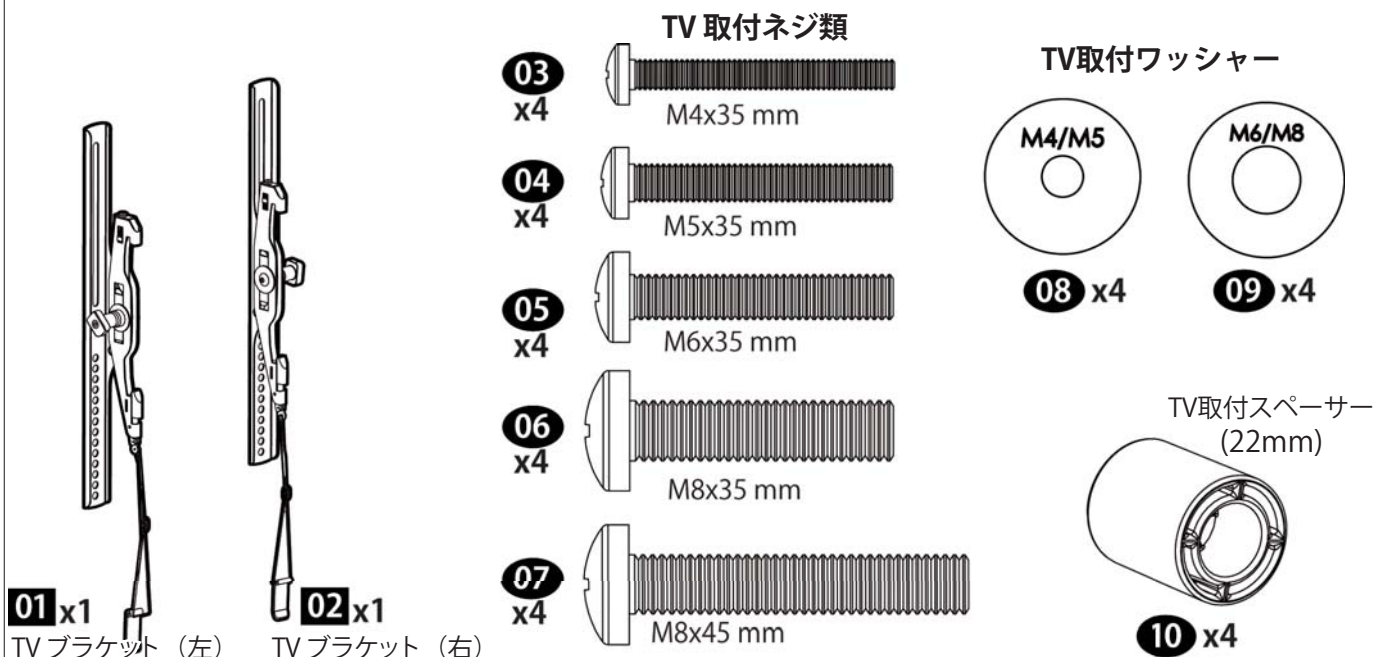
★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン（株）又は認定業者にお問い合わせください。

★ 添付の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

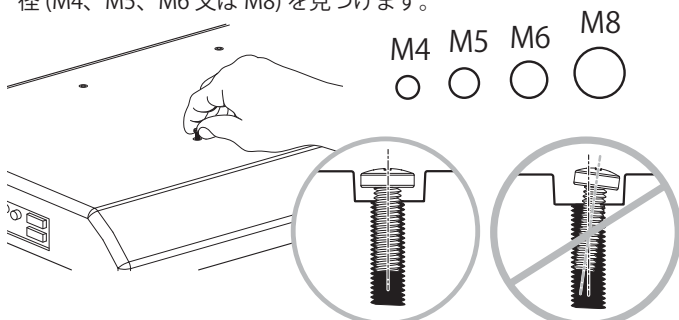
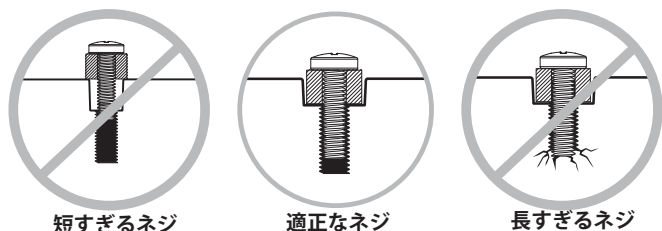
STEP 1 で使用する部品類

警告 : 本製品には小さい部品が付属しており､誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。　破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

注記 : M4、M5、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。
付属の部品をすべてを使用するわけではありません。

STEP 1　ブラケットをテレビに取り付ける

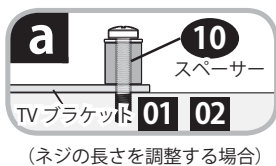
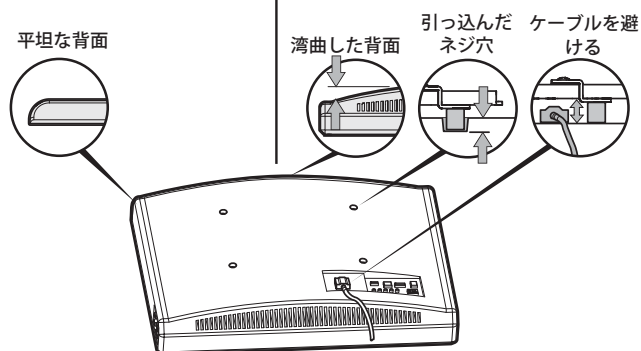
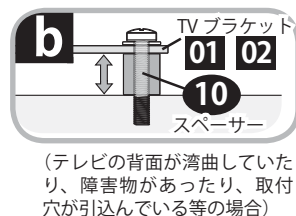
1－1　テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

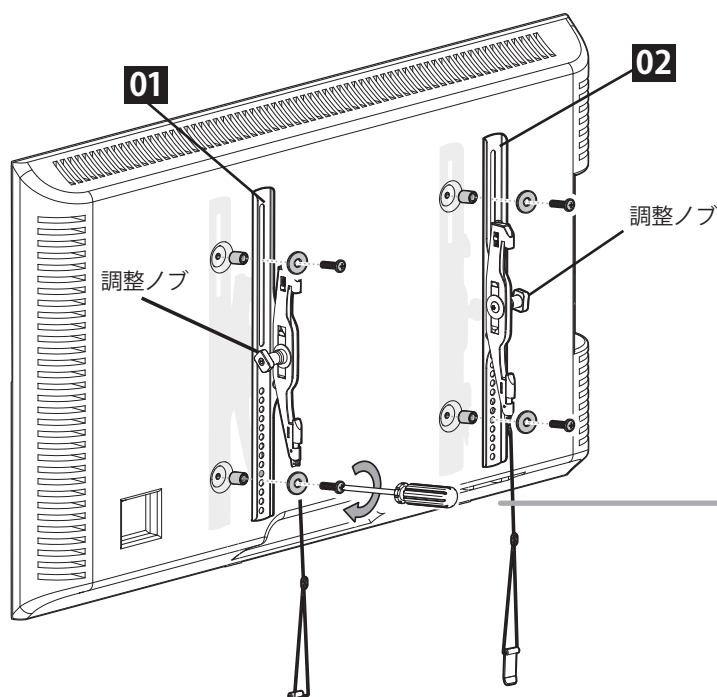
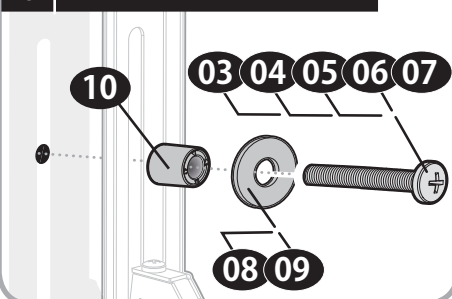
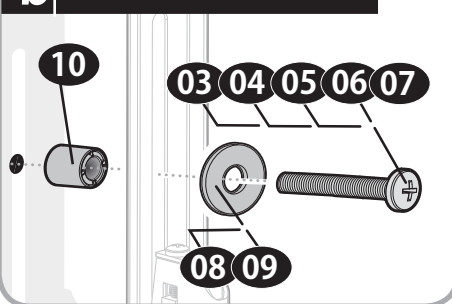
お使いのテレビの形状によって、使用する部品が決まります。
テレビの背面のネジ穴に手でネジを入れて、適合する正しいネジの直径 (M4、M5、M6 又は M8) を見つけます。

⚠注意 ご使用のテレビに対して、ネジやスペーサーを組み合わせて、適正なネジ山のかみ合わせを確認して下さい。
首下の短いネジは、テレビを十分保持できず、首下の長すぎるネジは、テレビの内部に損傷を与える恐れがあります。
※テレビのネジ穴の深さにより、スペーサーを使う必要の無い場合もあります。

⚠注意：ケガをしたり、テレビを破損しないように注意してください。
同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

1－2　スペーサーの取付方法

付属のスペーサーを使う場合は下図の取付方法を確認し、状況にあった取付方法を選択してください。（TV 背面の形状や状況により、TV ブラケット取付時のスペーサーの位置を選択します。）

※テレビのネジ穴の深さにより、スペーサーを使う必要の無い場合もあります。

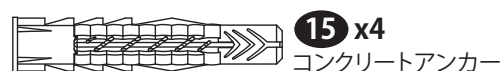
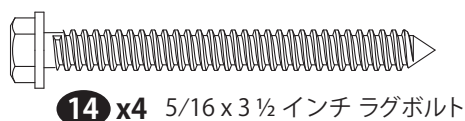
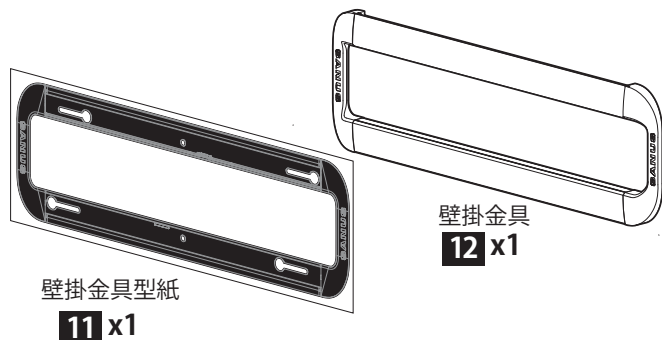
スペーサーを TV ブラケットの上に置く	スペーサーを TV ブラケットの下に置く

1－3　テレビにブラケットを取付ける

下図の様に左右のTV ブラケット[01] [02] が、テレビの背面上下の中心になるように調整しネジ止めしてください。 このとき、前項１－２(a もしくは b) で選択した取付方法でネジ、ワッシャーとスペーサーを差し込んでください。

STEP2　壁掛金具を壁面に取付ける

木柱壁 に取り付ける場合は、5ページの STEP 2A に従って固定します。
コンクリート壁 に取り付ける場合は、7ページの STEP 2B に従って固定します。

STEP 2で使用する部品類

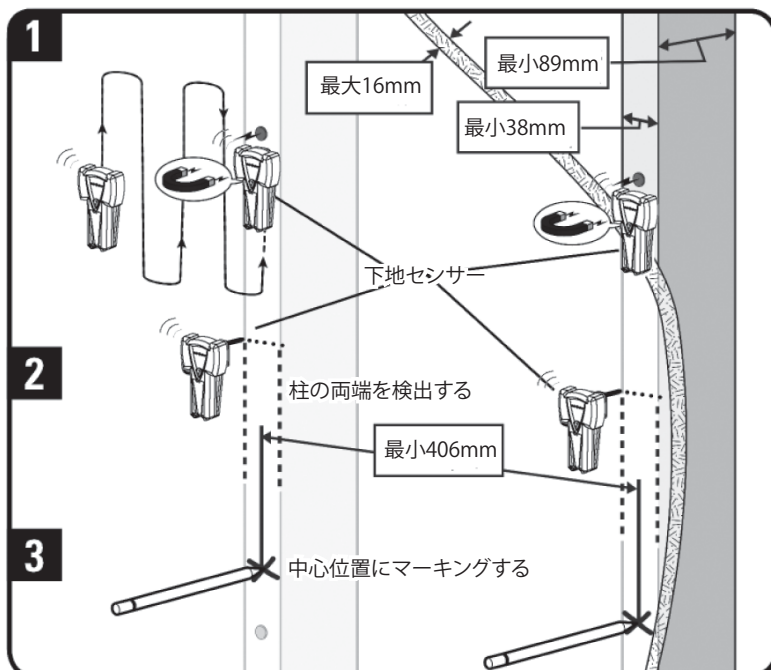
警告 ：本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。
組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。　破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

警告 ：水準器には磁石が含まれています。
ペースメーカーや埋め込み型除細動器（ICD）等の移植医療デバイスを使用中の場合、磁場がこれらの機器の動作に影響を与えて、重傷を負ったり死亡を招く恐れがあります。　もしお客様が、これらの移植された医療機器をお持ちの場合は、お使いのデバイスと磁石との間を少なくとも 13 センチ以上離して下さい。　又この器具を使用される前に、かかりつけの医師や医療専門家にご相談ください。

注記：付属の部品をすべて使用するわけではありません。

参考：水準器 [13] は、水平度を確認する為にお使い下さい。
なお、海外住宅向けに内蔵の磁石で釘などの金属を探知して、柱位置を見つける機能もありますが、国内では壁面構造が異なるのでご使用頂けません。

STEP 2 A　壁掛金具を取り付ける --- ＜２本の木柱を利用した取付例＞

警告: 　壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと、壁掛金具の総重量の 5 倍の重量を保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。
　なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

施工の条件：★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm 以下にしてください。
★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
★ 柱と柱の間隔は、406mm 以上が必要です。
★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。

注記:
下地センサー（木柱センサー）は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。
下記の１～３は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。

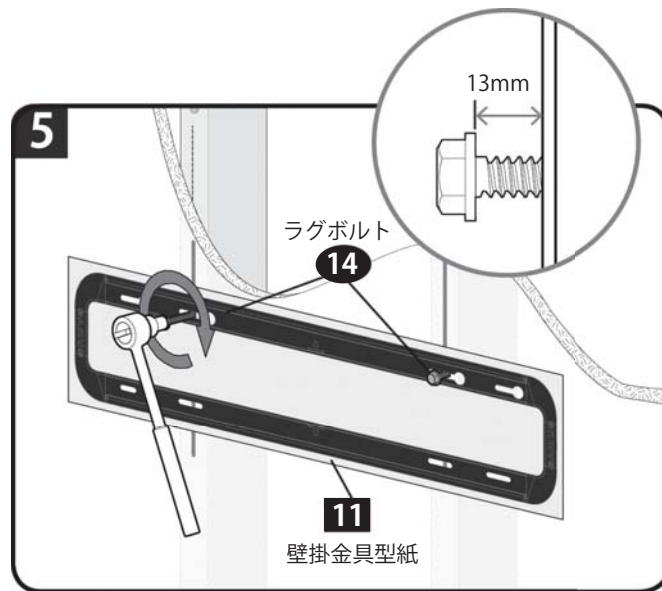
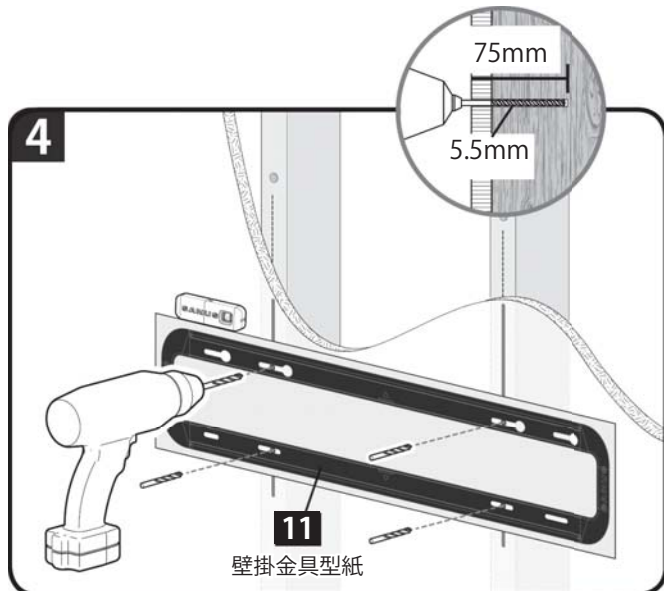
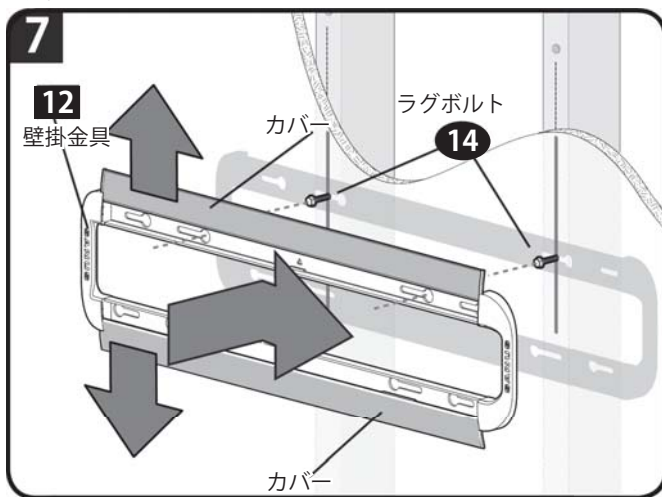
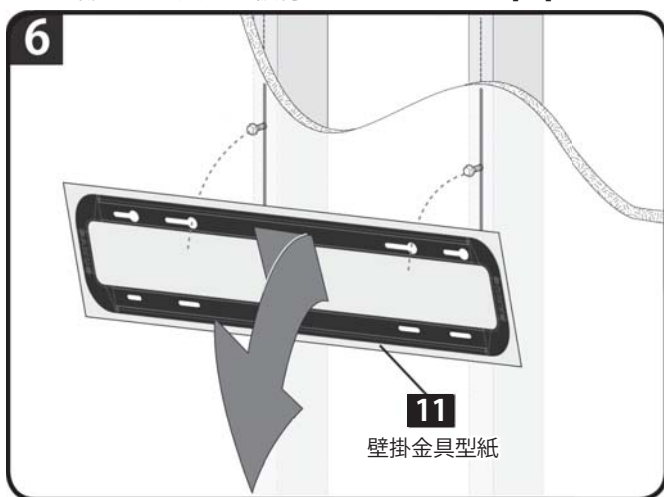
1. 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、右図の様に柱の位置を確認します。
2. 下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。
3. 二つのマーキング（両端）から柱の中心位置にマーキングを付けます。

4．壁掛金具型紙 [11] を、ご希望の高さで、取付穴の位置は図のように 2 本の柱の中心線上になるように配置します。壁掛金具型紙 [11] を水準器 [13] で水平度を確認してから、テープで壁面に仮に貼り付けます。柱の下穴は、5.5mm 径のドリルビットを使って、必ず 75mm の深さに穴を 4 箇所開けます。

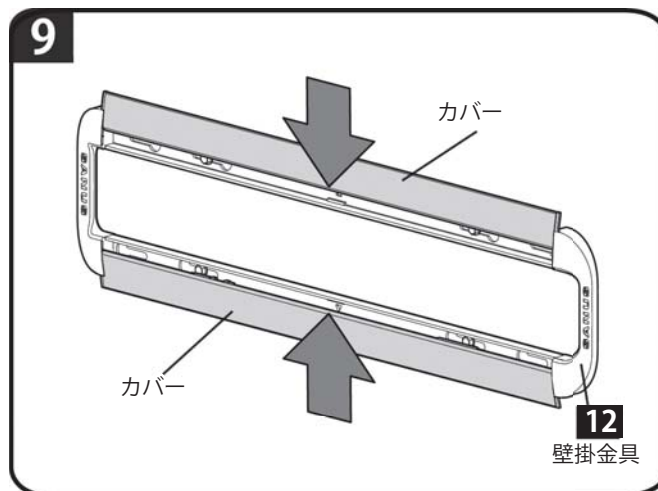
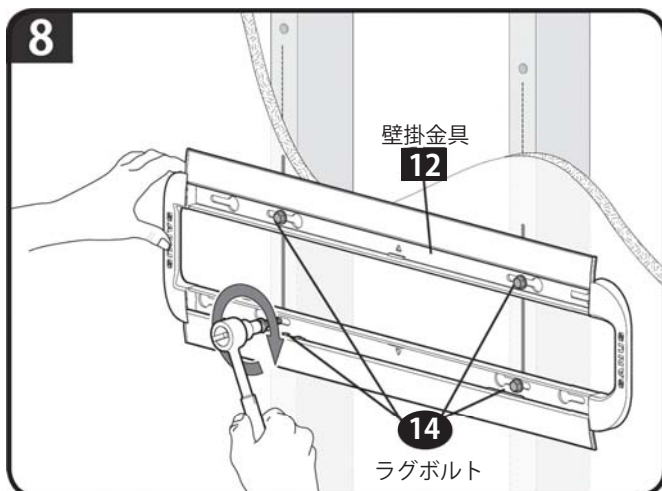
重要: マーキングして下穴を開ける時は、必ず柱の中心線上でなければなりません。

⚠ **警告** : 水準器 [13] には、磁石が含まれています。ペースメーカーや埋め込み型除細動器（ICD）等の移植医療デバイスを使用中の場合、磁場がこれらの機器の動作に影響を与えて、重傷を負ったり死亡を招く恐れがあります。もしお客様が、これらの移植された医療機器をお持ちの場合は、お使いのデバイスと磁石との間を少なくとも 13 センチ以上離して下さい。又この器具を使用される前に、かかりつけの医師や医療専門家にご相談ください。

5．上部 2 箇所のネジ穴に、ラグボルト [14] を壁面から約 13mm 程度のスペースを残して、仮に取り付けます。

注: この 13mm のスペースは、壁掛金具型紙 [11] を取り除いたり、壁掛金具 [12] をラグボルト [14] にぶら下げ易くする為のものです。

6．壁掛金具型紙 [11] を取り除きます。
7．図のように、壁掛金具 [12] のカバーをスライドして取り付け穴が見えるようにします。その後、壁掛金具 [12] の上部のネジ穴を、仮付けしたラグボルト [14] の上にぶら下げます。

8．下部の 2 つのネジ穴にラグボルト [14] を差し込んで、壁掛金具 [12] を取り付けます。次に上下 4 個のラグボルト [14] を壁掛金具 [12] にしっかりと引っ張り込まれるまで締めつけて、壁掛金具 [12] を固定します。

重要：最初のラグボルト [14] を締め付ける時、壁掛金具 [12] が所定の位置からずれないようにしっかり支えて下さい。適切に作業しないと、ラグボルト [14] でしっかりと支えることができません。またこのとき、必要以上にラグボルト [14] を締めつけ過ぎないようにご注意下さい。

9．上下のネジ穴にカバーを取付けます。

STEP 2B　コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取り付け

⚠ **警告:** 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

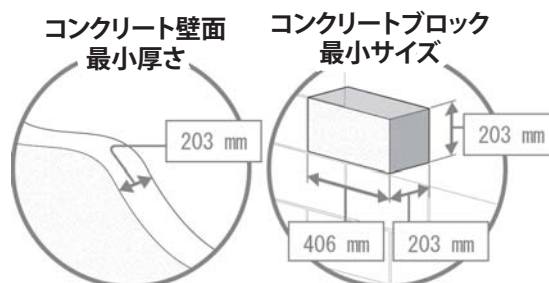
なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みのコンクリート壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

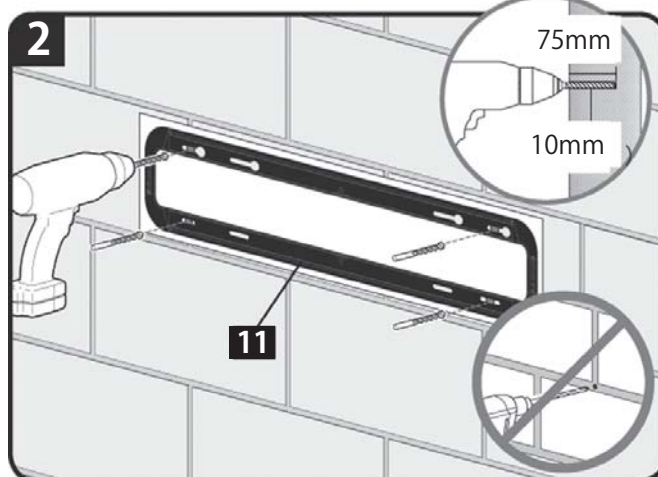
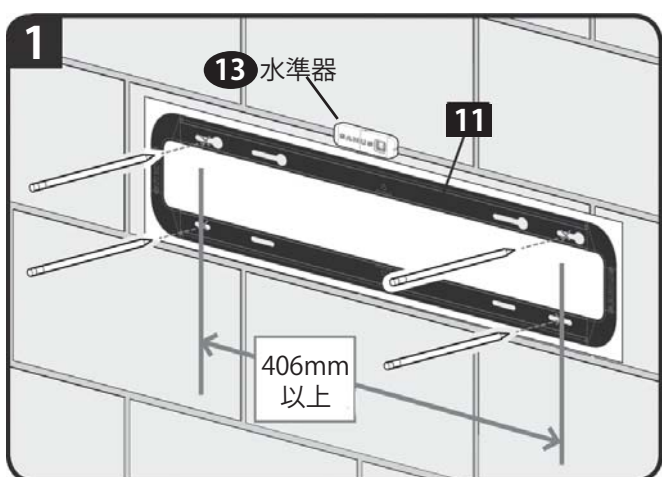
施工の条件：

★ 壁掛金具[12] は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。

★ コンクリート壁面の使用可能な最小の厚さは、203mm 必要です。

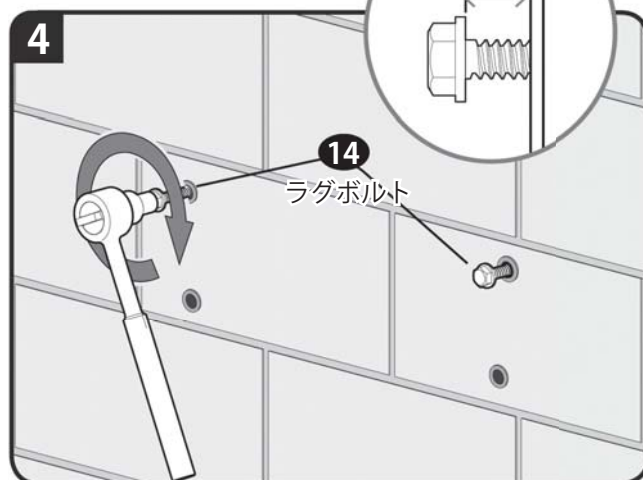
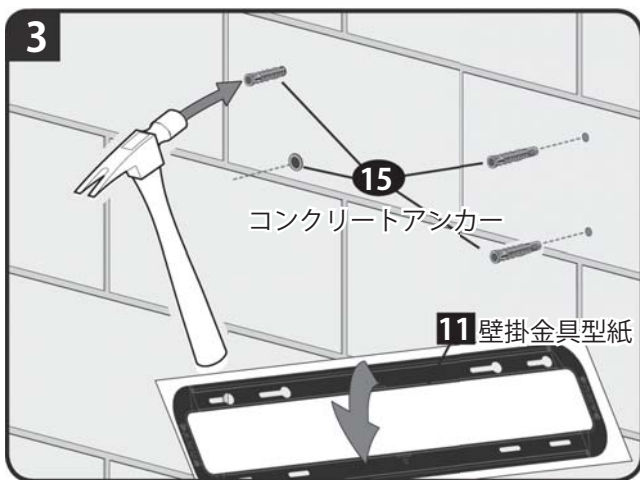
★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。
（空洞のあるものには使用できません。）

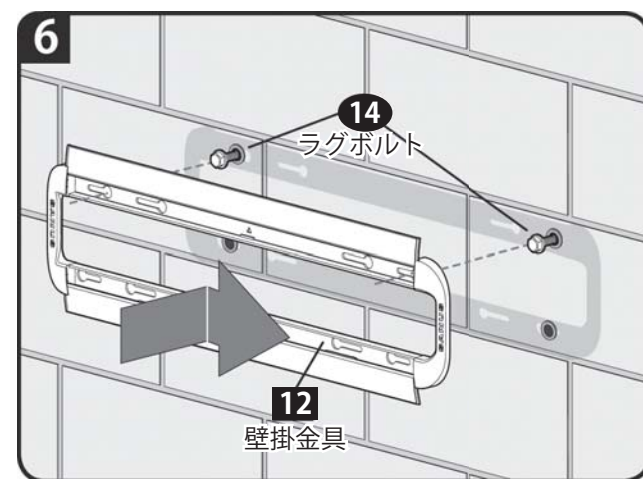
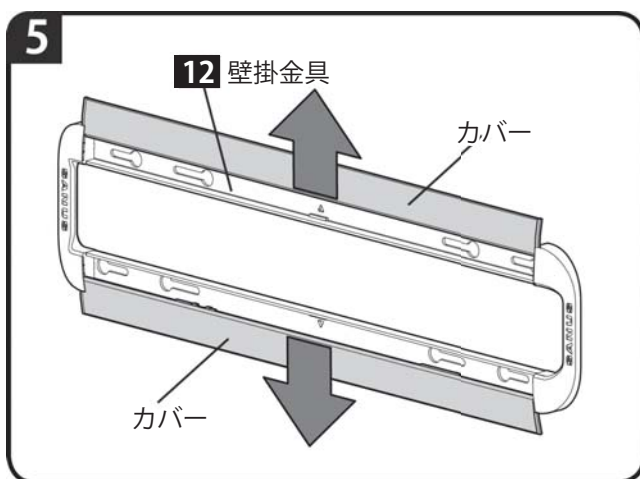
★ 水平方向のネジ穴の間隔は、406mm以上必要です。

1．壁面の希望の高さに、壁掛金具型紙 [11] を配置します。壁掛金具型紙 [11] は水準器 [13] で水平を確認してから、穴位置に 4 箇所のマーキングを付けます。

2．下穴は、10mm 径のドリルビットを使って、必ず 75mm の深さに 4 箇所開けます。

3．壁掛金具型紙 [11] を取り除いてから、 2．で開けた下穴に 4 個のコンクリートアンカー [15] を挿入します。

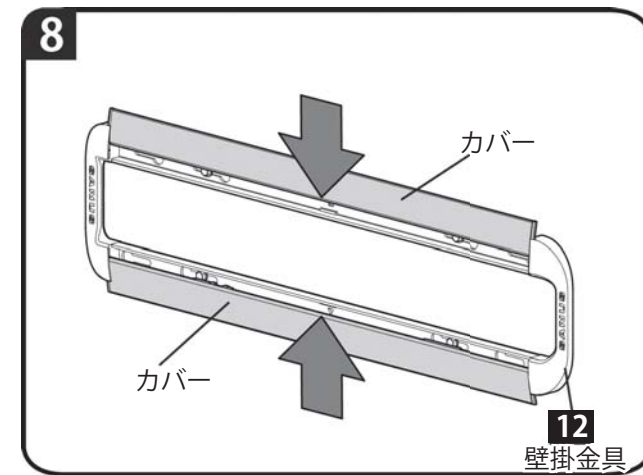
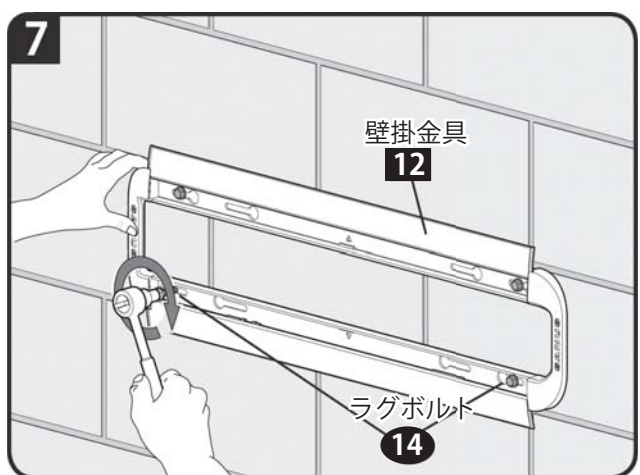
⚠ **重要** : コンクリートアンカー [15] は、コンクリート壁面と面一（つらいち）になるように最後まで打ち込んで下さい。

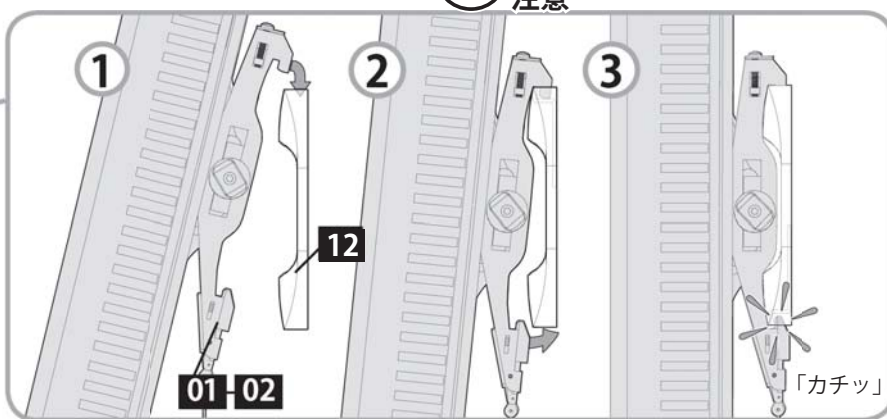
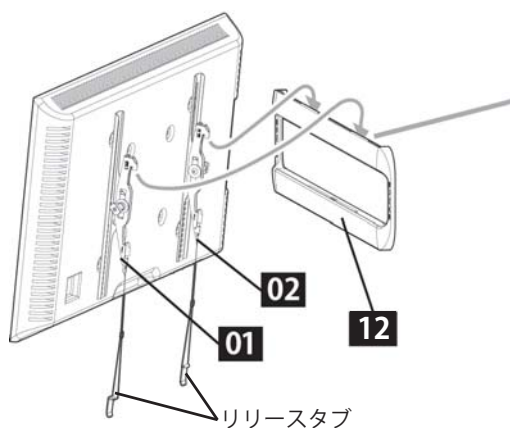
4．上部の 2 つのネジ穴に、ラグボルト [14] を、壁面から 13mm 程度のスペースを残して、仮に取り付けます。

注意 : このスペースは、壁掛金具 [12] をラグボルト [14] にぶら下げ易くする為のものです。

5．図の様に壁掛金具 [12] の上下のカバーをスライドします。

6．壁掛金具 [12] の上部のネジ穴を仮取付けしたラグボルト [14] にぶら下げます。

7．壁掛金具 [12] を手でしっかりと支えながら、下部の 2 つのネジ穴に、ラグボルト [14] を差し込み、壁掛金具 [12]　を取り付けます。次に上下左右 4 個のラグボルト [14] を壁掛金具 [12] にしっかりと引っ張り込まれるまで締めつけて固定します。

⚠ **重要** : 最初のラグボルト [14] を締め付ける時、壁掛金具 [12] が所定の位置からずれないようにしっかり支えて下さい。適切に作業しないと、ラグボルト [14] でしっかりと支えることができません。またこのとき、必要以上にラグボルト [14] を締めつけ過ぎないようにご注意下さい。

8．壁掛金具 [12] を固定し終わったら、上下のネジ穴にカバーをスライドして取り付けます。

STEP3　テレビを壁掛金具に取付ける

注意 重量があります！ この作業は二人以上で行って下さい。

1．左右の TV ブラケット [01] [02] を壁掛金具 [12] の上部に、図の様に引っかけます。

2．テレビを左右にスライドして壁面の所定の位置に置きます。

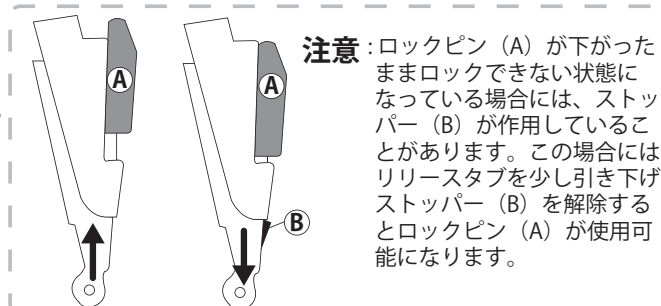
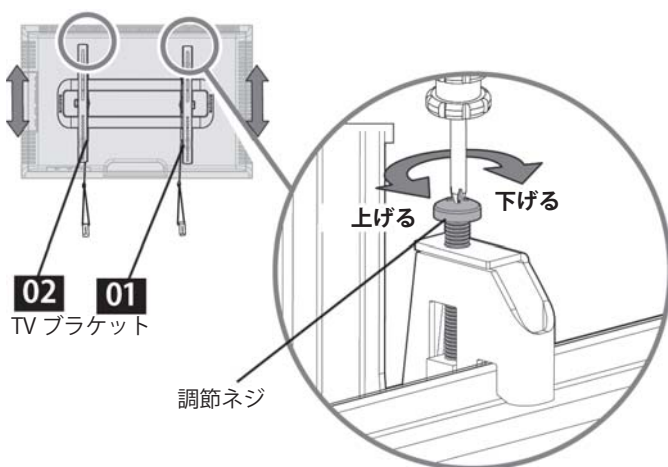
注意：左右のテレビブラケット [01] [02] は、壁掛金具 [12] に沿ってお好みの位置にスライド出来ます。

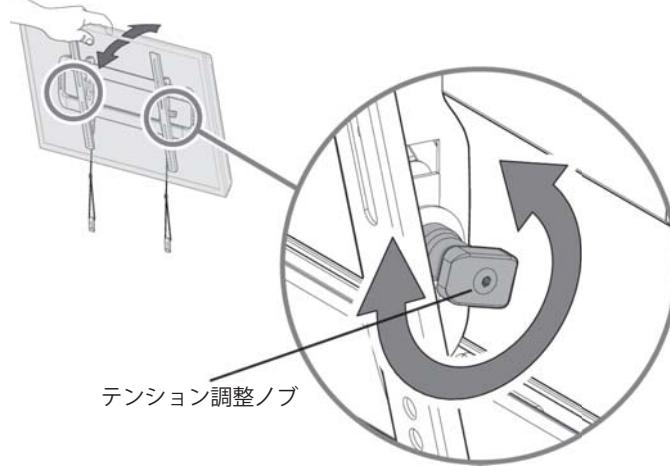
3．テレビの底面を壁面に向けて押し付けると、ロックピンが所定の位置でテレビをロックします。 正しくロックすれば「カチッ」という音がします。また、リリースタブを引くだけでロックの解除が行えます。

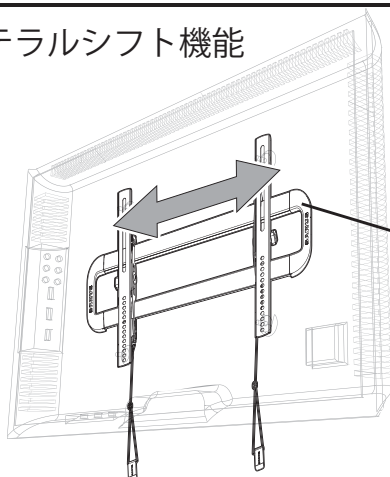
注意：ロックピン（A）が下がったままロックできない状態になっている場合には、ストッパー（B）が作用していることがあります。この場合にはリリースタブを少し引き下げストッパー（B）を解除するとロックピン（A）が使用可能になります。

STEP4　各部の機能と調整

プロセット機能

上げる
下げる
02
01
TV ブラケット
調節ネジ

調節ネジを回して水平度の微調整が行えます。

ティルト機能

テンション調整ノブを回してティルト機能のテンションを調節出来ます。

ラテラルシフト機能

12 壁掛金具

ラテラルシフト – 壁掛金具の装着後も壁側ベース金具の横幅の範囲内で、テレビを壁に取り付けた後でも水平方向に移動させることが出来ます。

※ ラテラルシフトをお使いになる際には、リリースタブを一度引きロックを解除して、TV ブラケット [01][02] を壁掛金具 [12] から浮かせた状態で行ってください。 ロックしたまま TV を動かすと、壁掛金具 [12] のカバーを破損しますのでご注意ください。

機能一覧 ：

壁側金具の幅内で、テレビの左右の位置を調整できる**ラテラルシフト機能**を搭載

俯き角１２°仰向き角７°にティルトします。

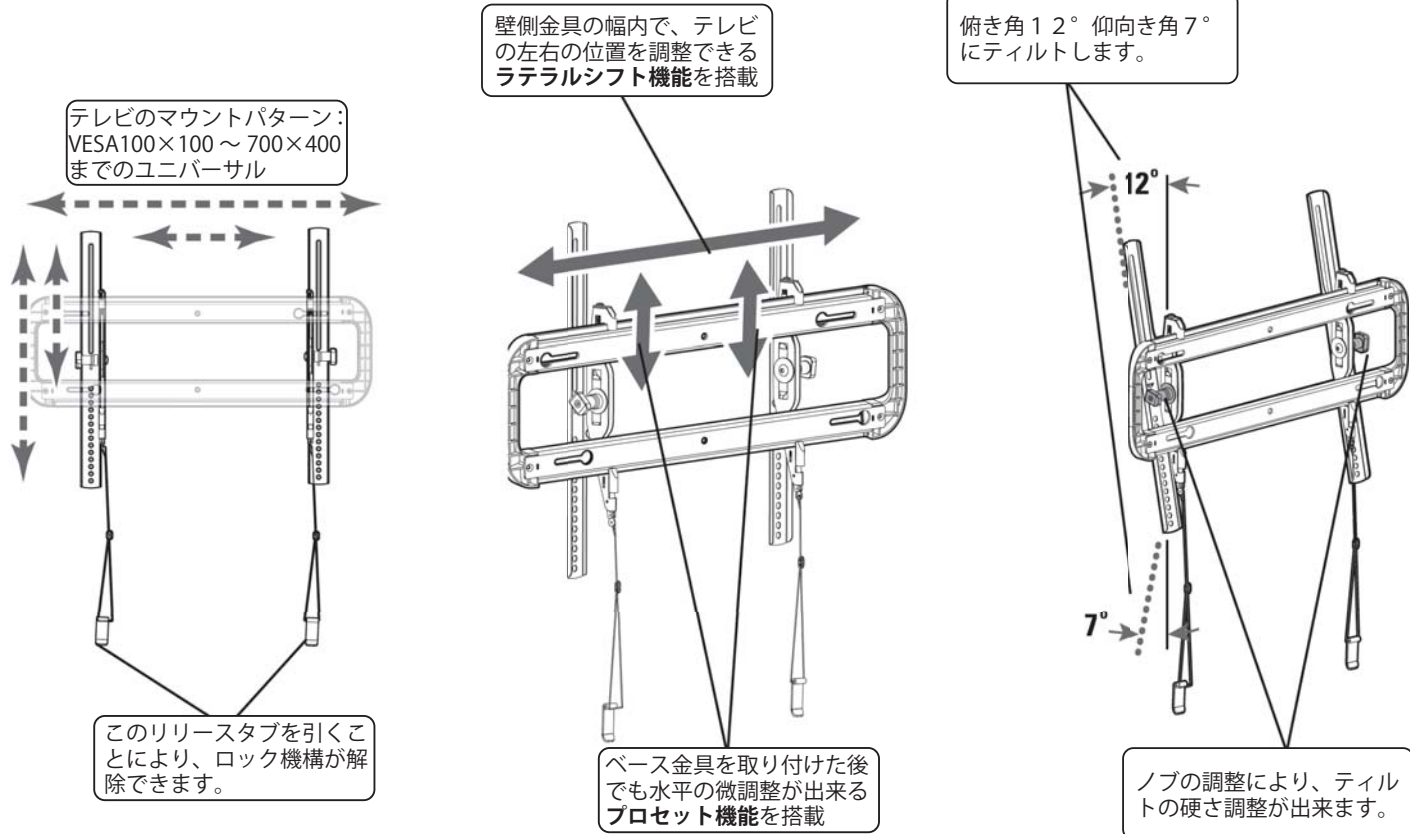
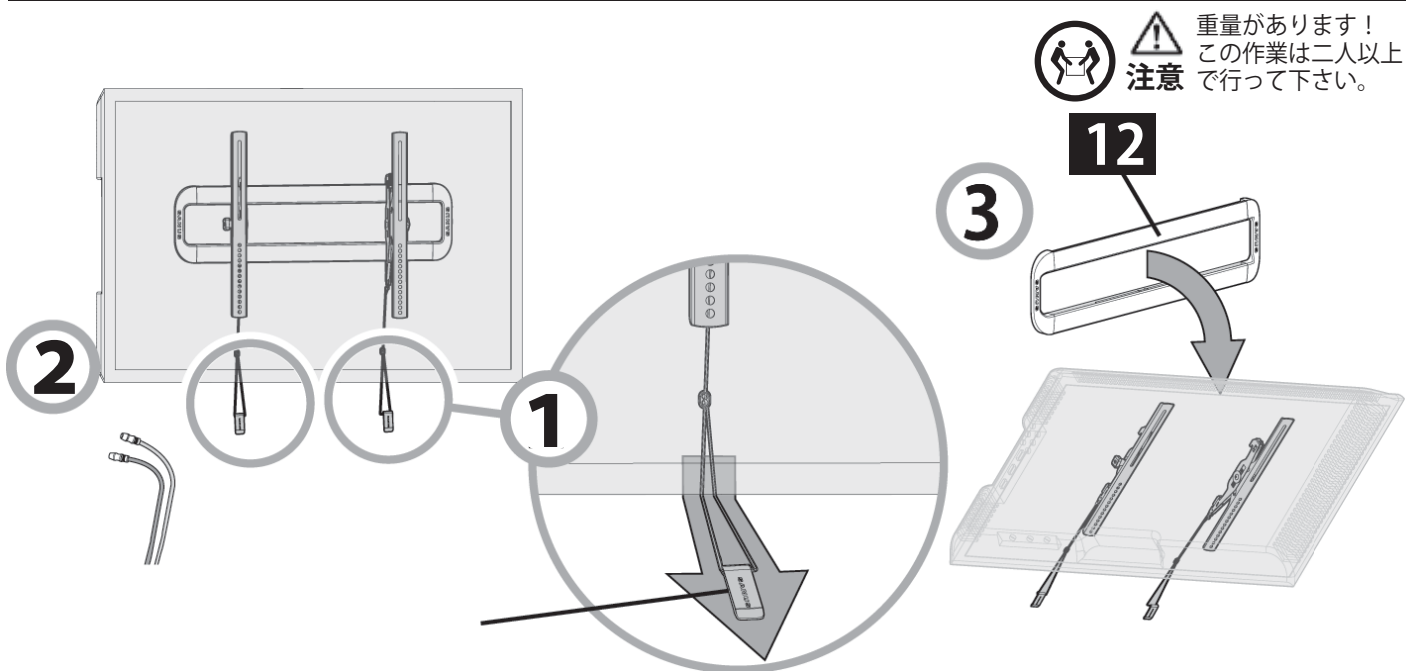
テレビのマウントパターン：VESA100×100 ～ 700×400までのユニバーサル

12°

7°

このリリースタブを引くことにより、ロック機構が解除できます。

ベース金具を取り付けた後でも水平の微調整が出来る**プロセット機能**を搭載

ノブの調整により、ティルトの硬さ調整が出来ます。

STEP5　取り外し方

1．リリースタブを下に引き下げて TV ブラケットのロックをはずし、壁掛金具から TV ブラケットの下部を取り外します。

2．テレビからアンテナ線やケーブル類をすべて取り外します。

3．大人二人でテレビを両側から支えて、壁掛金具から TV ブラケットの上部を取り外してください。

外観図

単位：mm

784
630
584
406
46
184
ø18
ø9
99
129
SANUS
最大時幅
700
最小時幅
65
450
421
54
225
ø8
12

55
12.00°
450
734
7.00°